

巻頭言：  
「特集：武蔵野大学における情報教育の現在地」に  
ついて

メタデータ	言語: Japanese 出版者: Musashino University Smart Intelligence Center 公開日: 2025-03-21 キーワード: 作成者: 林, 浩一 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000571">https://mu.repo.nii.ac.jp/records/2000571</a>

## 「特集：武蔵野大学における情報教育の現在地」について

### Special issues on The Present Position of Information Education at Musashino University

武蔵野大学 MUSIC センター長

林 浩一

MUSIC の発足から 5 年が経ち、本紀要も第 6 号を迎えました。昨年度、AI 副専攻コースを修了した 1 期生は、卒業式を終え、新たな世界へ飛び立とうとしています。今年度は、続く 2 期生も 75 名が修了を果たし、卒業研究などの学科での最終課題に取り組みながら、就職活動に取り組んでいます。ありがたいことに、修了生の就職活動では、多くの企業から予想を超えた、高い関心と評価をいただくことができ、副専攻への期待に対し、一定の役割を果たすことができたと感じ、まずは安堵しております。

一方、副専攻コースの完成から 1 年が経ち、コースに含まれる各科目も回を重ねる中で様々な改善点が指摘されています。加えて、生成 AI の登場など、当初は想定していなかったレベルでの AI 技術の進歩を踏まえて、AI 副専攻コースには、さらなる進化が求められています。こうした現状を踏まえ、今回の MUSIC 紀要では「武蔵野大学における情報教育の現在地」と題した特集を組みました。これまでの歩みを振り返り、現在の立ち位置を確認することで、次の一步をより確かなものにしたいと考えております。

本特集には、教員として関わってくださった先生方の論文に加え、昨年度に引き続き、学生が人工知能実践プロジェクトで取り組んだ内容をまとめた論文も掲載しています。ご高覧いただけましたら幸いです。

最後に、論文をご寄稿くださった皆様には、本特集の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りましたことを、この場を借りて深く感謝申し上げます。